

独語学独文学専攻

1. 専修科目、授業科目、単位数、担当者及び主研究内容等

※ 担当者氏名前の○印は、令和6年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授 業 科 目	単位数	担当者	主研究内容等	
独語学	独 語 学 演 習 I	4 又 は 8	教授 Dr. phil. ○森澤万里子	言語体系の変遷過程の考察、もしくは異なるテキスト種間に見られる文体的相違の考察を主な研究対象とし、受講者が自らのテーマに関する理解を深め、修士論文を完成できるよう指導する。	
	独 語 学 特 殊 講 義 III a	2		歴史社会言語学的観点から言語体系の変遷過程と社会変化の関連を探る方法を検討する。そのため、まず、社会言語学という学問及び言語変化についての講義を行う。その上で、社会的大事件である宗教改革が起こった16世紀、工業化や都市化とともに社会構造が大きく変化した19世紀に関する研究例に即し、上記の課題に取り組む。中世ドイツ語の知識も必要となるのでその文法も学び、演習も行う。	
	独 語 学 特 殊 講 義 III b	2			
	独 語 学 演 習 III	4 又 は 8	准教授 博士(文学) ○片岡 直行	受講者が各自のテーマで修士論文を作成するうえで必要な演習を行います。先行研究の成果を確実に把握したうえで、独自の調査・考察の結果を提示できるように指導します。	
	独 語 学 特 殊 講 義 I a	2		現代ドイツ語の形態論・統語論上の諸カテゴリーとその機能について論じます。ドイツ語で書かれた文献の厳密な読解を基礎としつつ、特定のテーマについて深く掘り下げます。	
	独 語 学 特 殊 講 義 I b	2			
独文学	独 文 学 特 殊 講 義 I a	2	教授 博士(文学) 田口 武史	ドイツ 18 世紀末に顕著な社会現象となった「民衆啓蒙運動 (Volksaufklärung)」の諸相と、その文化・文学史における位置づけを探る。 民衆啓蒙運動は、成人農民や中下層階級の女性や子どもに、労働や日常生活に直結した知識を与えんとした思想運動である。それまで教育的営為の埒外に置かれてきた人々を対象とした点で、また宗教や法、医学といったエリートを育成するための学問ではなく、万人向けの一般的かつ実用的な指南を提供した点で、まさに近代教育の魁とみなされる。この画期的な思想運動が持つ意味を、当時の社会状況を手掛かりに析出するとともに、同時代の文化・文学潮流と比較することで、いわゆるハイカルチャーの逆照射を試みる。	
	独 文 学 特 殊 講 義 I b	2			
	独 文 学 演 習 II	4 又 は 8	教授 ○金山 正道	ゲルマン的土壌に育った「ファウスト」とロマンス語圏から生まれた「ドン・ファン」とはともに時代精神の影響を受けながら、その評価・運命において、マクロの視点から見るとほぼ同様の変遷をたどる。この演習では、「ファウストとドン・ファン」という視点から、マックス・フリッシュの戯曲『ドン・ファン またの名 幾何学への愛』を読みながら、両者の評価と運命の変遷について考究する。	
	独 文 学 特 殊 講 義 II a	2		ドイツ文学とユダヤ人問題あるいはヨーロッパ文学とユダヤ人問題との関係は敢えて説明を要しない研究テーマであるといつて過言でない。イギリス文学に例をひけば、シェイクスピアの『ベニスの商人』におけるユダヤ人シャイロックは、一般の読者であっても知っているよう。これに対してドイツ文学の場合、世に出された最初のファウスト作品『ヨーハン・ファウストゥス博士の物語』(1587年)第38話に、シャイロック的ユダヤ人金貸しが登場し、大局的視点から見れば、ユダヤ人が打ち負かされるという点で『ベニスの商人』とその運命は同様である。シャイロックに典型をみるユダヤ人像がどのようにしてヨーロッパにおいて形成されていったのかという点について、ドイツ語圏を中心に宗教的観点に加え、歴史的社会的観点から考究する。	
	独 文 学 特 殊 講 義 II b	2		ドイツと日本のことわざを取り上げ、ことわざの中心的なはたらきを究明する。換言すれば、しばしば指摘される「教訓」が果たしてことわざの第1位的な機能であるのかという問題に関する考察ということもできる。その方法としてドイツと日本の「反道徳的なことわざ」を例にひき、そこからことわざのはたらきの本質をひもといていく。ファウスト文学との関連でいえば、刊行された最初のファウスト作品、いわゆる民衆本の『ヨーハン・ファウストゥス博士の実録物語』第65章はその大半がことわざを用いて書かれている。 ドイツのことわざに関する知識は、19世紀までのドイツ文学の理解にとって必須であるばかりでなく、日独の文化の比較という点からも有益である。	
	独 文 学 演 習 III	4 又 は 8		教授 ○永田 善久	グリム研究。受講者と相談の上、取り扱うテーマを決定し、原典(一次文献および二次文献)を精読します。その上で、修士論文を作成するための指導を行います。
	独 文 学 特 殊 講 義 III a	2			グリム兄弟(特にヤーコプ・グリム)研究。時代背景(ロマン派思潮)を踏まえ、兄弟が『メルヒェン集』や『伝説集』に込めた意図を、彼ら自身の手になる一次文献(『小論文集』や『ドイツ法古事誌』等)に拠りながら、考察します。
独 文 学 特 殊 講 義 III b	2				

専修科目	授業科目	単位数	担当者	主研究内容等
独文学	独文学演習Ⅳ	4又は8	教授 博士(文学) ○堺 雅志	批評の「形式」―「……について語る」ということ― 批評には、普遍的嗜好へのまなざしだけでなく、それが書かれた時代精神があらわれている。各時代の記念碑的な批評を丹念に読み解き、その時代精神を検証しながら、批評が対象とする作品そのものについて考察を加えてゆく。主に、受講生の研究テーマに即した作品と批評を取り上げるほか、ゲオルク・ジンメルやジークムント・フロイト、カール・クラウスなどの芸術批評を扱う。さらに造形芸術、音楽、映画に関する芸術批評をも考察の対象とする。
	独文学特殊講義Ⅳa	2		文芸批評研究―小説は芸術か娯楽か― 韻文、戯曲の芸術性は、古来保証されてきた事実である一方で、近代以降成立する小説は、その娯楽性が強調され、その芸術性にはつねに疑問符が付されている。そこで、18世紀以降の芸術論(レッシング、シュレーゲル、ショーペンハウアー、ニーチェ、カール・クラウス等)における言語芸術についての記述を読み直し、ジャンルとしての「小説」のほらむ諸問題を明らかにする。その上で、20世紀にとみにみられる小説論、さらには20世紀に登場する「芸術」、映画と映画論と比較考察しながら、「文学とは何か」という問いに迫る。
	独文学特殊講義Ⅳb	2		
	独文学演習Ⅴ	4又は8	教授 博士(文学) ○富重 純子	ユダヤ系ドイツ語作家を中心とした、19世紀、20世紀ドイツ文学の研究。先行研究の成果を把握した上で、文献の精読を行い、独自の考察を加えていく。受講者が各自のテーマに関する理解を深め、修士論文を執筆する上で必要な演習を行う。
	独文学特殊講義Ⅴa	2		近現代のユダヤ系ドイツ語文学の研究。ハインリッヒ・ハイネ、ヨーゼフ・ロートや、現代の作家、イルゼ・アイヒンガー、ジョルジュ・アルチュール・ゴルトシュミット、バーバラ・ホーニヒマンなどの作品を取り上げ、分析を行う。
	独文学特殊講義Ⅴb	2		
	独文学演習Ⅵ	4又は8	准教授 ○平松 智久	近現代ドイツ文学の分野において、修士論文を執筆するにあたり必要不可欠な研究技法を習得できるように指導したうえで、各自の研究課題について、先行研究をおさえながら持論を展開できる力を養います。
	独文学特殊講義Ⅵa	2		ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの文学的ライフワーク『ファウスト』を、自然科学的著書『色彩論』との関連から、「自然」をキーワードとして読み解きます。その際、ゲーテの詩、劇、小説、自然研究、手紙、日記、素描画などについても併せて考察します。
	独文学特殊講義Ⅵb	2		
	ヨーロッパ学演習Ⅰ	4又は8	教授 Dr. phil. ○マーレン・ゴツィック	ヨーロッパ文学における社会変容、とりわけ高齢化社会の研究。比較社会学をベースにし、受講者が自らのテーマを研究し、修士論文を作成する。
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅰa	2		ヨーロッパの文化・時事がドイツ中心のメディア(新聞・ラジオ)や文学でどのように表現されているかを考察し、ヨーロッパに関する理解や現代ドイツ語能力を深める。
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅰb	2		
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅲa	2	准教授 博士(哲学) ライヒャルト、 アンドレ	世紀末ドイツ文学を中心に、ヨーロッパ学の視点から文学と真理の関係について考察し、その際、文学理論と記号学についても検討する。ドイツ語圏を中心としたヨーロッパに関して専門的な視点から発言できるドイツ語能力も涵養する。
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅲb	2		

その他の科目(担当者未定科目)

授業科目	単位数	授業科目	単位数
独語学演習Ⅱ	4又は8	独語学特殊講義Ⅴa	2
		独語学特殊講義Ⅴb	2
独語学特殊講義Ⅱa	2	独語学特別講義Ⅱ	2
独語学特殊講義Ⅱb	2	独文学演習Ⅰ	4又は8
独語学特殊講義Ⅳa	2		
独語学特殊講義Ⅳb	2	独文学特別講義Ⅰ	2
独語学特別講義Ⅰ	2	独文学特別講義Ⅱ	2

2. 履修方法

- ① 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計32単位以上を修得しなければならない。
- ② 授業科目のうちから、一つの特講義及び演習を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- ③ 専修科目の演習担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けなければならない。
- ④ 専修科目の演習8単位及び講義4単位、合計12単位を必修科目として履修し、その他の授業科目のうちから20単位以上を選択科目として履修しなければならない。
- ⑤ 専修科目の演習は2年間8単位の履修を原則とするが、専修科目としない演習は、選択科目として1年間4単位の履修を認めることがある。
- ⑥ 指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めた場合は、第4項の規定にかかわらず、他の専攻博士課程前期の授業科目を、8単位を限度に選択科目として履修することができる。
- ⑦ 修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

※昼夜開講制について

独語学独文学専攻では、働きながら大学院で学ぶことを希望する社会人の学修を容易にするために、昼夜開講制を導入しています(ただし、秋季入学試験受験者のみを対象とします)。本専攻を志願し、夜間の受講を希望される方は、出願の前に大学院事務課(人文科学研究科担当)へお問い合わせください。